

# 水稻施肥設計例

ほ場条件で施肥量は変わります。地力の高い水田では、元肥・穂肥ともに2～3割程度減らして施しましょう。

## コシヒカリ施肥

※モチについては、P11をご覧ください。

### 基本設計

(10a当り・単位：kg)

項目	施用時期 年内 又は 春先	元 肥		中間追肥	穂 肥		肥料総成分量		
		代かきの入水前に施す		出穂 45～35日前	出穂 18日前	出穂 10日前	※( )内は、中間追肥を施用しない場合の数値		
田の条件	肥料名 土作り 肥料	島コシ 化成2号	苦土 重焼燐	けい酸 加里	味穂	味穂	窒素	リン酸	加里
標準	200	25～30	20	30	10	10	5.5 ～ 6.0	12.3 ～ 13.2	12.4(6.4) ～ 13.2(7.2)
平坦部遅植え (5月25日以降田 植え)	200	20	20	30	10	7	4.6	11.3	11.2 (5.2)
畑作、転作後 基盤整備後	200	※PK-40号 40		30	10	10	3.0	8.8	16.4 (10.4)

※畑作、転作後については、土壤に多く窒素が残っている場合は、元肥の施用量が変わります。ご相談下さい。

### 労力省力型

(10a当り・単位：kg)

施用時期		年内・春先	元 肥	穂 肥	肥料総成分量		
対象地区	使用時期	土作り肥料	代かき入水前に施す	出穂18日前	窒素	リン酸	加里
標準	元肥1回 穂肥なし型	ミネリッチ 100	けい酸加里入 セラコートR202 40～50	※穂肥不要	4.8～ 6.0	4.0～ 5.0	4.8～ 6.0
標準	元肥1回 穂肥なし型	ミネリッチ 100	楽-21 (倒伏軽減剤配合) 25～30	※穂肥不要	5.25～ 6.3	2.75～ 3.3	2.5～ 3.0
標準	元肥1種類 穂肥1回型	ミネリッチ 100	セラコートR131 25	みのりアップ 15	5.2	7.95	4.0

※天候によっては穂肥が必要な場合がございます。JAにご相談下さい。

### 低コスト施肥

※低コスト肥料い〜ね463を使った設計により、低コスト化(4,000円程度)を図りましょう。

(10a当り・単位：kg)

項目	施用時期 年内 又は 春先	元 肥		中間追肥	穂 肥		肥料総成分量		
		代かきの入水前に施す		出穂 45～35日前	出穂 18日前	出穂 10日前	※( )内は、中間追肥を施用しない場合の数値		
田の条件	肥料名 土作り 肥料	い〜ね 463	苦土 重焼燐	けい酸 加里	味穂	味穂	窒素	リン酸	加里
標準	200	20	10	20	10	10	5.8	7.5	9.0 (5.0)

※葉色が薄くなったら早めの施用のこと。



# きぬむすめ施肥

## 基本設計

(10a当り・単位：kg)

項目	施用時期 年内又は春先	元肥		中間追肥	穂肥		肥料総成分量		
		代かきの入水前に施す		出穂 40日前	出穂 20日前	出穂 10日前			
肥料名 田の条件	土作り肥料	PKセーブ 488	苦土 重焼燐	NK化成 C-12号	NK化成 C-12号	NK化成 C-12号	窒素	磷酸	加里
標準	200	20~25	15	※6~8	8	17	7.8~ 8.8	6.9~ 7.3	7.8~ 8.6
畑作、転作後 基盤整備後	200	PK-40号 40		—	8	17	4.0	8.0	13.0

※葉色が薄くなったら早めの施用のこと。

## 労力省力型

(10a当り・単位：kg)

対象地区	使用時期	土作り肥料	代かき入水前に施す	出穂24日前	窒素	磷酸	加里
標準	元肥1回 穂肥なし型	ミネリッチ 100	<b>新発売</b> きぬ一発223 40	※穂肥不要	8.8	4.8	5.2
標準	元肥1種類 穂肥1回型	ミネリッチ 100	セラコートR131 40	みのりアップ 25	8.5	12.75	6.5

※天候によっては穂肥が必要な場合がございます。JAにご相談下さい。

## 側条施肥田植え

(10a当り・単位：kg)

品種	施用時期 年内又は春先	肥料名 土作り肥料	元肥		中間追肥	穂肥		肥料総成分量		
			植付け時同時施用		出穂 45~35日前	出穂 18日前	出穂 10日前	※( )内は、中間追肥を 施用しない場合の数値		
		ネオペースト 2号	苦土 重焼燐	けい酸 加里	味穂	味穂	窒素	磷酸	加里	
コシヒカリ	液状 基本型	200	20	15	30	10	10	5.0	9.3	10.8 (4.8)
	液状 省力型	200	ネオペーストSR502 40~50		中間追肥・穂肥不要			6.0~ 7.5	4.0~ 5.0	4.8~ 6.0
	粒状型	200	固形40号	30	30	10	10	5.4	8.0	10.8 (4.8)
きぬむすめ	肥料名	土作り肥料	ネオペースト 2号	苦土 重焼燐	NK化成 C-12 (出穂 40日前)	NK化成 C-12 (出穂 20日前)	NK化成 C-12 (出穂 10日前)	窒素	磷酸	加里
	液状 基本型	200	30	15	※6	8	17	8.0	10.1	9.8
	粒状型	200	固形40号	40	※6	8	17	8.2	9.6	9.4

※葉色が薄くなったら早めの施用のこと。

◎粒状型施肥については、「労力省力型」に記載してあります元肥1回型穂肥なし型をご利用いただけます。

◎ハナエチゼンの施肥設計例については、各地区担当の相談員へご相談下さい。



# 病害虫防除体系

※記載されている各農薬の効果の日数については、病害虫の発生状況等により短くなることがございます。目安としてご覧下さい。

体系	5月		6月			7月		穂ばらみ期	穂ぞろい期	穂ぞろい期から10日後	
	中旬	下旬(田植え)	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬				
基本防除体系	※いずれかを選択して下さい。							<b>防除①</b> 穂の汚れ、いもち病が多い田には 32 プラシントレバリダ粉剤DL 4kg/10a (対象病害虫) いもち病、紋枯病、ごま葉枯れ病、 穂枯れ、変色米、カメムシ類、 ウンカ類、ツマグロヨコバイ、イナゴ 類  <b>または</b> <b>【省力防除型】</b> 31 フイドナーエース粉剤DL 4kg/10a (対象病害虫) ツマグロヨコバイ、ウンカ類、カメムシ類、 コブノメイガ、いもち病、紋枯れ病  ※カメムシ等害虫に対する効果が長く効きま す。	<b>防除②</b> 38 ビームトレボン粉剤5 DL 4kg/10a (対象病害虫) いもち病、穂枯れ、 カメムシ類、ウンカ類、 ツマグロヨコバイ  但し、カメムシ、イナゴ被 害が多い所では、穂ぞろ い期から3日後40MR、 ジョーカー粉剤DLを4kg/10 a散布し、その10日後に防	<b>防除③</b> 37 ダントツ粉剤DL 4kg/10a (対象病害虫) ウンカ類、ツマグロヨコバイ、 カメムシ類、イナゴ類  または 35 スタークル粉剤DL 3kg/10a (対象病害虫) ニカメイチュウ、カメムシ類 ウンカ類、ツマグロヨコバイ イナゴ類、イネツトムシ	
											<b>いもち病、紋枯病、白葉枯病、害虫防除の総合薬剤！</b> ウンカ類、コブノメイガ、ツマグロヨコバイ、イネミズゾウムシ、イネドロオイムシ ニカメイチュウ、イネツトムシ、フタオビコヤガ、イネヒメハモグリバエと幅広い害虫に効果。 <b>⑤フルターボ箱粒剤</b> 1箱50g処理 【移植3日前～移植当日処理】 (虫に約60日間。いもち病に約60日間。紋枯病に約80日間効果持続。)  <b>【白葉枯病対策薬剤】いもち病、紋枯病、害虫防除の総合薬剤！</b> いもち病、イネミズゾウムシ、コブノメイガ、イネドロオイムシ、ウンカ類 ツマグロヨコバイ、フタオビコヤガ、ニカメイチュウ+白葉枯病・紋枯病の多発田へ <b>⑥ルーチンエキスパート箱粒剤</b> 1箱50g処理 【播種時(覆土前)～移植当日処理】 (虫に約50日間。いもち病に約60日間。紋枯病に約70日間効果持続。) 長い効果が得られます。  「特別栽培米」「エコロジー米」「つや姫」を栽培される方は⑥ルーチンエキスパート箱粒剤をお使い下さい。
											<b>いもち病の多発田に！</b> いもち病、イネミズゾウムシ、イネドロオイムシ、ウンカ類 ツマグロヨコバイ、イネクロカメムシ、ニカメイチュウ <b>⑦デジタルコラトップアクタラ箱粒剤</b> 1箱50g処理 【移植3日前～移植当日処理】 (害虫、いもち病に約90日間効果持続。) 長い効果が得られます。
											<b>いもち病、白葉枯病の多発田へ！</b> イネミズゾウムシ、イネツトムシ、コブノメイガ、ウンカ類、ニカメイチュウ、イネドロオイムシ <b>⑧ビルダープリンス粒剤</b> 1箱50g処理 【移植3日前～移植当日処理】 (虫に約60日間。いもち病に50日間効果持続。) 長い効果が得られます。
ヘリコプター防除体系	上記【フルターボ箱粒剤】、【ルーチンエキスパート箱粒剤】を状況に応じてご選択下さい。							ヘリコプター防除	38 MR、ジョーカー粉剤DL 4kg/10a (対象病害虫) カメムシ類、ウンカ類、 ツマグロヨコバイ、イナゴ類、 コブノメイガ、イネツトムシ、 フタオビコヤガ、イネアザミウマ	37 ダントツ粉剤DL 4kg/10a (対象病害虫) ウンカ類、ツマグロヨコバイ、 カメムシ類、イナゴ類	
粒剤防除体系	上記【フルターボ箱粒剤】、【ルーチンエキスパート箱粒剤】を状況に応じてご選択下さい。							<b>いもち病、紋枯れ病予防に</b> 26 コラトップリンパー粒剤 4kg/10a  <b>紋枯病に</b> 28 モンカット粒剤 4kg/10a  <b>いもち病、ウンカ、カメムシ等害虫予防に</b> ※特にカメムシ防除効果が長くなっております。 27 コラトップダントツ粒剤 1kg/10a	※使用時期は、出穂～出穂期 カメムシ予防に 39 スタークル粒剤 3kg/10a (対象病害虫) カメムシ類、ツマグロヨコバイ、 ウンカ類		
液剤防除体系	上記【フルターボ箱粒剤】、【ルーチンエキスパート箱粒剤】を状況に応じてご選択下さい。							プラシントレバリダ水和剤 300g/10a 500倍液(150%散布) 収穫14日前まで	ビームイトスタークルゾル 150ml/10a 1000倍液(150%散布) 収穫7日前まで	MR、ジョーカー-EW 75ml/10a 2000倍液を(150%散布) 収穫14日前まで	



# 病害中防除基準一覽表

※記載されている各農業の効果の日数については、病害虫の発生状況等により短くなる場合がございます。目安としてご覧下さい。

時期	病害虫名	農薬名	注文書NO	使用量	使い方と注意	毒性	安全使用基準		
							使用期限	限度回数	
育苗期	床土入れ前	育苗箱消毒	イチバン乳剤	1	水10%に10ml	床土を入れる前の箱を1～2秒間液に浸す。残液の処理は消石灰を100%当り3kg投入後、数日間直射日光にさらしてから大量の水とともに処理する。	普	-	-
	塩水選後	ばか苗病、ごま葉枯病、いもち病、もみ枯細菌病、褐条病、苗立枯細菌病、苗立枯病	モミガードC水和剤	2	粗3kgに15g(0.5%)	塩水選し、水洗い後、湿粉衣する。その後4時間風乾し、浸種に移す。JAでの購入扱は不要。	普	浸種前	1
	浸種前	シンガレセンチュウ	スミチオン乳剤	3	1000倍液	浸種前に1000倍液で24時間浸漬して下さい。	普	播種前	1
	播種時	苗立枯病	タチガレエースM液剤	4	水10%に20ml(20箱分)	播種時又は発芽後、希釈液を1箱当り500ml散布する。	普	播種時又は発芽後	1
	移植前	いもち病、紋枯病、白葉枯病、もみ枯細菌病、内穎褐変病、穂枯れ、ウンカ類、コブノメイガ、ツマグロヨコバイ、イネミズゾウムシ、イネドロオイムシ、ニカメイチュウ、イネツトムシ、フタオビコヤガ、イネヒメハモグリバエ	フルターボ箱粒剤	5	1箱に50g	<b>いもち病、紋枯病、白葉枯病、害虫防除の総合薬剤！</b> 紋枯病の効果が約80日間、いもち病の効果が約60日間、害虫には約60日間効果が持続します。長期残効型の殺虫殺菌剤です。	普	移植3日前～移植当日	1
			ルーチンエキスパート箱粒剤	6	1箱に50g	<b>【白葉枯病対策薬剤】いもち病、紋枯病、害虫防除の総合薬剤！</b> 紋枯病の効果が約70日間、いもち病の効果が約60日間、害虫には約50日間効果が持続します。特に白葉枯病に効果が高い薬剤となっております。	普	播種前(覆土前)～移植当日	1
			デジタルコラトップアクタラ箱粒剤	7	1箱に50g	<b>いもち病、害虫防除の総合薬剤！</b> いもち病、害虫に約90日間効果が持続します。	普	移植3日前～移植当日	1
			ビルダープリンズ粒剤	8	1箱に50g	<b>いもち病、白葉枯病の多発田へ！</b> 移植3日前～移植当日に散布することにより初期・中期の左記病害虫の同時防除が期待でき、長期残効型箱施用剤である。防除回数が減り省力化となる。	普	移植3日前～移植当日	1
本	発生時	イネドロオイムシ、コブノメイガ、ニカメイチュウ、イネツトムシ、フタオビコヤガ、アザミウマ類	バダシ粉剤DL		3～4kg/10a	コブノメイガ、イネツトムシの害虫発生時に殺虫効果が高い薬剤です。	普	収穫21日前まで	6
	出穂3～4週間前	白葉枯病、いもち病、穂枯れ	オリゼメート粒剤		3～4kg/10a	白葉枯病の予防に効果がある。出穂3～4週間前に散布して下さい。その他、いもち病、穂枯れにも効果がある。	普	収穫14日前まで	2
	幼穂形成期～穂ばらみ期	紋枯病	モンカット粒剤	28	4kg/10a	紋枯病常習田の予防剤として出穂30～10日前に水深3～5cmの湛水状態で使用する。使用後3～4日間は止水する。	普	出穂30～10日前 但し収穫14日前まで	3
		いもち病・紋枯病	コラトップリンパー粒剤	26	4kg/10a	出穂5日前までに水面施用する。使用時は3cm程度の湛水状態とし、使用後3～4日間は止水する。	普	出穂30日前～5日前まで	2
	出穂5日前	いもち病、カメムシ類、ウンカ類、ツマグロヨコバイ	コラトップダントツ1キロ粒剤	27	1kg/10a	いもち病、カメムシ類等の総合防除薬剤。特にカメムシの防除効果が長くなっております。	普	出穂5日前まで	2
	穂ばらみ期	いもち病、紋枯病、ウンカ類、カメムシ類、ツマグロヨコバイ、コブノメイガ、ニカメイチュウ、イネツトムシ、フタオビコヤガ	ワイドナーエース粉剤DL	31	4kg/10a	病害、虫害の総合防除として必ず散布する。※長期残効型	普	収穫14日前まで	2
		いもち病、紋枯病、ウンカ類、ツマグロヨコバイ、カメムシ類、イナゴ類、穂枯れ、ごま葉枯れ	ブラシントレバリダ粉剤DL	32	4kg/10a	病害、虫害の総合防除として必ず散布する。蚕に毒性が強い。	普	収穫14日前まで	2
	穂ぞろい期	いもち病、ウンカ類、ツマグロヨコバイ、カメムシ類、コブノメイガ、イネツトムシ、穂枯れ	ピームトレボン粉剤5DL	33	4kg/10a	病害、虫害の総合防除として必ず散布する。特に穂いもち、カメムシ類に対する防除効果が高い。	普	収穫7日前まで	3
	穂ぞろい期から10日後	ウンカ類、ツマグロヨコバイ、カメムシ類、イナゴ類、イネドロオイムシ、ウンカ類、カメムシ類、ツマグロヨコバイ、ニカメイチュウ、フタオビコヤガ	ダントツ粉剤DL	37	4kg/10a	カメムシ類に対して殺虫効果および吸汁抑制効果があります。カメムシ被害の多い田にご使用下さい。	普	収穫7日前まで	3
		カメムシ類、ウンカ類、ツマグロヨコバイ、イナゴ、ニカメイチュウ、イネツトムシ、イネドロオイムシ	スタークル粉剤DL	35	3kg/10a	カメムシの斑点米の予防に効果 ※エコ米、特別栽培米使用可能	普	収穫7日前まで	3
		イネツトムシ、カメムシ類、ツマグロヨコバイ、ウンカ類、コブノメイガ、イネアザミウマ、イナゴ類	エルサンバッサ粉剤20DL		3～4kg/10a	カメムシによる斑点米の予防。散布時期を守って下さい。	普	収穫7日前まで	2
	穂ぞろい期から3日後	イネツトムシ、カメムシ類、ツマグロヨコバイ、ウンカ類、コブノメイガ、イネアザミウマ、イナゴ類	MR. ジョーカー粉剤DL	38	4kg/10a	カメムシ被害の多いところは、穂揃い期から3日後にまずこの本剤を散布し、その10日後に本剤またはエルサンバッサ粉剤DLを散布して下さい。また、ヘリコプター散布の方についても同様な使い方をして下さい。	普	収穫7日前まで	2
期	出穂～穂ぞろい期	カメムシ類	スタークル豆つぶ 250g入	29	250g/10a	カメムシ防除の省力型 出穂7日～10日が散布適期 収穫7日前まで ※エコ米、特別栽培米使用可能	普	収穫7日前まで	3
	出穂～出穂期	イネドロオイムシ、ウンカ類、カメムシ類、ツマグロヨコバイ、ニカメイチュウ	スタークル粒剤	30	3kg/10a	カメムシ防除適期は、出穂～出穂期に使用下さい。 ※エコ米、特別栽培米使用可能	普	収穫7日前まで	3
	穂ばらみ期～出穂期	紋枯病、擬似紋枯病	バリダシン粉剤DL	34	4kg/10a	紋枯病防除剤 ※エコ米、特別栽培米使用可能	普	収穫14日まで	5
	出穂10日前まで	稲こじ病、墨黒穂病	撒粉ボルドー粉剤DL		3～4kg/10a	稲こじ病発生している場合は、早めの散布をする。	普	出穂10日前まで	—
	出穂25～10日前	倒伏のおそれがある圃場には 右記【倒伏軽減剤】 を使用して下さい。	ロミカ粒剤	8	3kg/10a	イネの上位節間の伸長時期に合わせて出穂25～10日前に均一に散布する。	普	出穂25～10日前まで	1
出穂20日～7日前	スマレクト粒剤		9	3kg/10a	出穂20～7日前の処理は上位3節間を効果的に抑制し、耐倒伏性が高まる。	普	出穂20～7日前まで	1	

農業の安全使用基準を厳守しましょう！！



# 除 草 剤

時期	-7日	田植え	+5日	+10日	+15日	+20日	+25日	+30日	+50日	稲刈後	
基本防除体系	⑩サキドリEW 500ml/10a (代かき時) ※散布後、止水7日間 に努めて下さい。		⑪シリウスエグザ1キロ粒剤 1kg/10a ノビエ2.5葉まで。但し、移植後30日まで。 ※早めに散布下さい。								
雑草防除体系	⑩サキドリEW 500ml/10a (代かき時) ※散布後、止水7日間 に努めて下さい。		⑯イネキング1キロ粒剤 1kg/10a ノビエ2.5葉まで。但し、移植後30日まで。 ※早めに散布下さい。					⑳レプラス1キロ粒剤 → 粒剤 1kg/10a	ラウンドアップ マックスロード 500ml/10a (100%の水に溶 き散布)		
省力体系			⑱シロノックLジャンボ 350g/10a ノビエ2.5葉期まで。但し、移植後30日まで。 ※早めに散布下さい。		⑫シリウスエグザジャンボ 300g/10a ノビエ2.5葉期まで。但し移植後30日まで。 ※早めに散布下さい。						

## 除草剤の使用上の留意点

【適期使用、均一散布、適切な水管理を心がけましょう!】

- 散布後、7日間は止水に努めてください。
- 散布後、3～5日位は、3～5cmの湛水を保つ。  
但し、水の補給が必要な水田は、差水は3日以降に行い、  
水尻を止め、ゆっくり差水をする。
- 補植は除草剤散布までに行い、散布後には田んぼには入らないで下さい。
- 砂地、漏水田、有機物過多田、ガス発生田等又は、軟弱徒長苗は、葉害が  
やすい。
- 露のある時に散布した場合、葉害が生ずることがある。
- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には使用しないでください。
- 農業は小児の手の届くところには置かないでください。

図44 水田のおもな雑草 注 ①は1年草、②は多年草。



## 除草剤使用基準

農薬名	注文書NO	10a当たり使用量	ヒエ	1年生広葉雑草	マツパイ	ウリカワ	ホタルイ	ミズカヤツリ	オモダカ	毒性	容量	使用に当たっての留意点及び特徴について	限度回数
代かき時 サキドリEW	10	500ml	◎	◎	◎	×	○	○	×	普	500ml	植代剤 植代時～移植7日前まで。幅広い雑草の初期発生を抑える効果あり。初中期除草剤との体系で使用 する。散布後、7日間は止水に努めて下さい。	1回
初中期一発剤	シリウスエグザ1キロ粒剤	11	1kg	◎	◎	◎	◎	◎	◎	普	1kg	『既に生えている雑草に効く成分』と『雑草に長く効く成分』の組合せ、4成分で発生のタイミングが異なる様々な草 種を長く抑えます。移植直後～ノビエ2.5葉期但し移植後30日まで。	1回
	シリウスエグザジャンボ	12	300g	◎	◎	◎	◎	◎	◎	普	300g		1回
	シリウスエグザ顆粒	13	80g	◎	◎	◎	◎	◎	◎	普	80g		1回
	キマリテ1キロ粒剤	14	1kg	◎	◎	◎	◎	◎	◎	普	1kg	初中期一発剤 移植直後～ノビエ3葉期まで但し移植後30日まで 特別栽培米・エコ米・つや姫に使用できます。	1回
	キマリテジャンボ	15	300g	◎	◎	◎	◎	◎	◎	普	300g		1回
	イネキング1キロ粒剤	16	1kg	◎	◎	◎	◎	◎	◎	普	1kg	初中期一発剤 移植直後～ノビエ2.5葉期まで。但し移植後30日まで。	1回
	ゼータハンマー1キロ粒剤	19	1kg	◎	◎	◎	◎	◎	◎	普	1kg	初中期一発剤 移植直後～ノビエ3葉期まで但し移植後30日まで。	1回
シロノックLジャンボ	18	350g	◎	◎	◎	◎	◎	◎	普	350g	350gバック剤 初中期一発剤 移植後3日～ノビエ2.5葉まで但し移植後30日まで。 5～6cmの湛水を保って散布して下さい。抵抗性雑草に対応しております。	1回	
中期・後期剤	レプラス1キロ粒剤	20	1kg	◎	◎	◎	◎	◎	◎	普	1kg	雑草防除剤 大きくなったクログワイ、オモダカ、コウキヤガラ等雑草も防除します。また、4葉期までのノビ エにも効果があります。移植後14日～ノビエ4葉期但し、収穫60日前まで。	1回
	フォローアップ1キロ粒剤	21	1kg	◎	◎	◎	◎	◎	◎	普	1kg	湛水散布。後期剤。移植後15日～ノビエ5葉期但し、収穫60日前まで。 雑草防除に効果があります。	1回
	クリンチャー1キロ粒剤	22	1kg	◎	×	×	×	×	×	普	1kg	1kg散布の場合 移植後7日～ノビエ4葉期但し、収穫30日前まで。 1.5kg散布の場合 移植後25日～ノビエ5葉期但し、収穫30日前まで。	2回
	クリンチャージャンボ	23	1kg	◎	×	×	×	×	×	普	1kg	小包装20個(1kg)散布の場合 移植後15日～ノビエ3葉期但し、収穫40日前まで。 小包装30個(1.5kg)散布の場合 移植後25日～ノビエ4葉期但し、収穫40日前まで。	2回
	クリンチャーEW		100ml	◎	×	×	×	×	×	普	100ml	移植後20日～ノビエ6葉期但し、収穫30日前まで。	2回以内
	クリンチャーパスME	24	1000ml	◎	○	○	◎	○	◎	普	500ml	落水で散布。移植後15日～ノビエ5葉期 但し、収穫50日前まで。	2回以内
	パサグラン粒剤	25	4kg	×	○	○	◎	○	◎	普	3kg	落水で散布。後期剤 移植後15日～50日 但し、収穫60日前まで。	1回
藻・浮草	モゲトン粒剤		2～3kg	—	—	—	—	—	—	普	3kg	移植後、藻、浮草にお困りの方に最適。 収穫45日前まで。	3回
刈跡除草	ラウンドアップマックスロード		500ml							普	500ml	散布にあたっては周辺の作物等にかからない様、十分に注意する。根まで枯れます。耕起前までに散布。	1回



# もちの栽培管理について

## 「ミコトモチ」 栽培ごよみ

### 収量と収量構成要素の目標値

収 量	穂数	粒数	登熟歩合	玄米千粒重
kg/10a	本/m <sup>2</sup>	粒/m <sup>2</sup>	%	g
540	390~410	26,000	80	26.0

**栽培適地等**  
 平坦～中山間部の地方中庸～やや肥沃地。  
 中山間部は標高300m以下。ただし、8月中～下旬の1日の平均気温が20℃を下回る地域では、作付けを避ける。  
 早植～普通期栽培（5月上～下旬植え）に適する。

**長 所**  
 1. 餅の外観、食味が良い。  
 2. 穂の先端が褐色で芒がやや長く、識別性が高い。  
 3. 収量性が高い。

**注 意 点**  
 1. 葉いもち抵抗性はやや弱いため、適切な防除を行う。  
 2. 倒伏を防ぐために、多肥栽培はしない。  
 3. 穂発芽防止のため、適期刈取に努める。

月 日	4 月			5 月			6 月			7 月			8 月			9 月			10 月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	
生育段階・区分	播 種			田 植			有効分げつ期			最高分げつ期			幼穂形成期			出穂期			成熟期		
育 苗	12cm			3~4本			18本程度			24本			幼穂形成 穂ばらみ			登 熟					
草 丈																(桿長) 85cm程度					
1株莖数																(穂数) 1株当り18本程度			m <sup>2</sup> 当り 390~410本		
水管理																					
ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 植え付けは株間18cm、条間30cmを基準とする</li> <li>・ 適切な水管理で生育促進</li> <li>・ 倒伏防止のため中干しを徹底</li> <li>・ 7月上旬に葉色がうすい場合、中間追肥を施用</li> <li>・ 穂肥は出穂前20日と10日に施用する</li> <li>・ 適期に刈取る</li> <li>・ 適正な乾燥・調製</li> </ul>																				
◎健康な田づくりを	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外気温にならして雑草育成</li> <li>・ 圃場内は温度管理に注意</li> <li>・ 圃場内の防草（100~150cm程度）</li> <li>・ ハト胸袋などネットを備えて防草</li> <li>・ 圃場内湿度を守る（100~120cm）</li> <li>・ 浸灌は水温を調整する（水温10℃以上）</li> </ul>																				
◎初期生育の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 低温時や寒風時は深水</li> <li>・ 浅水管理により水温を高く維持</li> </ul>																				
◎中干しの実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一株一八本以上になったら中干し</li> <li>・ 作済の期行</li> </ul>																				
◎穂肥の時期は適切に！	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ N・K・P 12 6kg/10a程度</li> <li>・ 7月上旬に葉色がうすい場合を施用</li> <li>・ 一株一八本以上になったら中干し</li> <li>・ 作済の期行</li> </ul>																				
◎出穂後の管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出穂後20日程度は圃場かん水</li> <li>・ 穂いもち、カメムシ防除</li> <li>・ 仕上げはちんと！</li> <li>・ 穂いもち防除（出穂前1~3日）</li> <li>・ N・K・P 12 10kg/10a</li> <li>・ 穂肥第二回目（出穂前10日）</li> <li>・ 枝枯病防除</li> <li>・ N・K・P 12 10kg/10a</li> <li>・ 穂肥第一回目（出穂前10日）※幼穂長2cm</li> <li>・ 止葉と幼穂長の確認</li> <li>・ 穂肥の時期は適切に！</li> </ul>																				
◎適正な乾燥・調製	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 適期に刈取る（青味約5~10%）</li> <li>・ 適正な乾燥（水分25%）</li> </ul>																				

## ミコトモチ施肥基本設計例

(10a当り・単位: kg)

項目	施用時期	年内 又は 春先	元 肥		中間追肥	穂 肥		肥料総成分量		
			化成肥料	苦土 重焼燐	7月上旬	出穂 20日前	出穂 10日前	窒素	燐酸	加里
田の条件	肥料名	土作り 肥料	化成肥料 12-18-14	苦土 重焼燐	化成肥料 17-0-17	化成肥料 17-0-17	化成肥料 17-0-17	窒素	燐酸	加里
標 準	200	200	25	10	※8	10	10	7.7	8.0	8.2
畑作、転作後 基盤整備後	200	200	PK-40号 40		—	10	10	3.4	8.0	11.4

※葉色が薄くなったら早めの施用のこと。

## ヒメノモチ・ココノエモチ 施肥基本設計例

(10a当り・単位: kg)

項目	施用時期	年内 又は 春先	元 肥		中間追肥	穂 肥		肥料総成分量		
			化成肥料	苦土 重焼燐	45~35日前	出穂 18日前	出穂 10日前	窒素	燐酸	加里
田の条件	肥料名	土作り 肥料	化成肥料 12-18-14	苦土 重焼燐	けい酸加里	化成肥料 17-0-17	化成肥料 17-0-17	窒素	燐酸	加里
標 準	200	200	30	20	20	10	10	7.0	12.4	11.6 (7.6)
畑作、転作後 基盤整備後	200	200	PK-40号 40		20	10	10	3.0	8.0	11.01 (15.0)

地力の高い水田では、元肥・穂肥ともに2~3割程度減らして施肥しましょう。



## 特別栽培米について

近年、消費者の食に対する「安全・安心」への関心は特に高くなっております。このような中、JA「特別栽培米」(品種はコシヒカリ限定)の取り組みを積極的に推進しています。

### 特別栽培米とは？

化学合成農薬及び化学合成肥料の使用量が、県における標準的使用量のそれぞれ5割以下とするなど、島根県エコロジー農産物推奨基準に適合し、JAとの栽培契約を行ったものをいいます。

詳しくは、農産課(0854-84-9057)または営農推進資材課(0854-84-9070)までお問い合わせ下さい。

### 「特別栽培米」栽培基準 ※記載以外の施用は特別栽培米の対象外となります。

生育の目安については4ページの「稲の生育と栽培暦」を参照下さい。

#### 「特別栽培米」施肥設計 (10a当り・単位:kg)

年内	年内 又は 春先	元 肥		中間追肥	穂 肥	肥料総成分量		
		代かきの入水前に施す		出穂 40日前	出穂20日前 (幼穂長5mm)	※( )内は、中間追肥を 施用しない場合の数値		
堆肥 または 稲わら	土作り 肥料	セラム有機 820	苦土 重焼燐	けい酸 加里	あきまさり (セラム有機240)	窒素	燐酸	加里
500kg 以上	200	20kg以下	20	30	20kg以下	4.0 以下	10.2	10.0 (4.0)

年内	年内 又は 春先	元 肥		穂 肥	肥料総成分量		
		代かきの入水前に施す		出穂20日前	※( )内は、中間追肥を 施用しない場合の数値		
堆肥 または 稲わら	ミネリッチ	有機一発077	PK-40	穂肥不要	窒素	燐酸	加里
500kg 以上	100	40kg以下	20		4.0 以下	6.8	6.8

## 「特別栽培米」防除基準

(一般防除体系) ※エコ米生産農家の方については、別途防除体系を送付します。ご注意ください。

適 用	農薬名	散布量	効果・備考
種子消毒	タフブロック(種子消毒済)		ばか苗病、もみ枯細菌病、苗立枯細菌病 褐条病、いもち病
育苗箱施用剤	ルーチンエキスパート箱粒剤	50g/1箱	いもち病、紋枯病、害虫(対象害虫については申込書をご覧ください。)
除草剤	キマリテ1キロ粒剤 または キマリテジャンボ	1kg/10a 300g/10a	散布適期は田植後15日まで。 早めの散布!
中後期 除草剤	〇クリンチャー1和粒剤	1kg/10a	使用はいずれか1回のみ
	〇クリンチャージャンボ	1kg/10a	
	〇バサグラン粒剤	4kg/10a	
	〇クリンチャーバス液剤	1,000ml/10a	
本田期防除	△ビームトレボン粉剤5DL	4kg/10a	いもち病・カメムシ類 収穫7日前まで。
	バリダシン粉剤DL	3kg/10a	紋枯病
	スタークル粒剤または スタークル粉剤DLまたは スタークル豆つぶ	3kg/10a 3kg/10a 250g~500g/10a	カメムシ類 収穫7日前まで。
	△トレボン粉剤DL	4kg/10a	カメムシ類、収穫7日前まで

※上記以外の農薬を使用しますと「特別栽培米」「エコ米」に該当しなくなりますのでご注意ください。

○中後期除草剤はいずれか1回のみ使用可能です。

△本田期防除剤はいずれか1回のみ使用可能です。



## 『つや姫』栽培について

つや姫については、化学合成農薬及び化学合成肥料の使用量が、県における標準的使用量のそれぞれ5割以下とするなど特別栽培基準での取組みになっています。作付けにあたっては、JAとの栽培契約が必要です。詳しくは、農産課(0854-84-9057)または営農推進資材課(0854-84-9070)までお問い合わせ下さい。

## 栽培基準

※記載以外の施用は対象外となります。

### 「基本施肥設計」(10a当り・単位:kg)

年 内	年内 又は 春先	元 肥		中間追肥	穂 肥	肥料総成分量		
		代かきの入水前に施す		出穂 40日前	出穂25日前 (幼穂長2mm)	※( )内は、中間追肥を 施用しない場合の数値		
堆肥 または 稲わら	土作り 肥料	セラム有機 820	苦土 重焼燐	けい酸 加里	あきまさり (セラム有機240)	窒素	磷酸	加里
500kg 以上	200	25	20	30	25	5.0	11.0	11.0 (5.0)

化学窒素成分量が4kg/10a以下の為、特別栽培米コシヒカリとエコ米コシヒカリとは異なりますのでご注意ください。

### 「労力省力型施肥設計」施肥設計(10a当り・単位:kg)

年 内	年内 又は 春先	元 肥		穂 肥	肥料総成分量			
		代かき入水前に施す		出穂25日前	窒素	磷酸	加里	
堆肥 または 稲わら	ミネリッチ	有機一発266		PK 40号	あきまさり (セラム有機240)	6.6~ 7.8 以下	7.0~ 7.6 以下	7.9~ 8.5 以下
500kg 以上	100	40~50		20	※15kg以下			

#### ※農薬使用注意事項について

※種子については毎年更新が必要となります。

タフブロック処理がしてある種子での販売となりますので、処理の必要が無くなりました。

尚、2月以降での種子予約につきましては、ご自宅でのタフブロック処理が必要となる場合もございます。

## 『防除基準』

### (一般防除体系)

適用	農薬名	散布量	効果・備考
種子消毒	タフブロック(種子消毒)		ばか苗病、もみ枯細菌病、苗立枯細菌病 湯条病、いもち病
育苗箱 施用剤	ルーチンエキスパート箱粒剤	50g/1箱	いもち病、紋枯病、害虫(対象害虫については 申込書をご覧ください。)
除草剤	キマリテ1キロ粒剤 または キマリテジャンボ	1kg/10a 300g/10a	散布適期は田植後15日まで。 早めの散布!
	中後期 除草剤	○クリンチャー1和粒剤 ○クリンチャージャンボ ○バサグラン粒剤 ○クリンチャーバス液剤	1kg/10a 1kg/10a 3kg/10a 1,000ml/10a
本田期防除	△ビームトレボン粉剤5DL	4kg/10a	いもち病・カメムシ類 収穫7日前まで。
	バリダシン粉剤DL	3kg/10a	紋枯病
	スタークル粒剤または スタークル粉剤DLまたは スタークル豆つぶ	3kg/10a 3kg/10a 250g~500g/10a	カメムシ類 収穫7日前まで。
	△トレボン粉剤DL	4kg/10a	カメムシ類、収穫7日前まで。

※上記以外の農薬を使用しますと「特別栽培米」・「エコロジー米」に該当しなくなりますのでご注意ください。

○中後期除草剤はいずれか1回のみ使用可能です。

△本田期防除剤はいずれか1回のみ使用可能です。



# 30年産「あか穂もち」栽培基準

(栽培目標) ●生産量の目標は倒伏しやすく、不捻ねが多いため、多収を第1としない。

## 施肥基本設計 (10a当り・単位: kg)

年内 は 春先	元 肥		中間追肥	穂 肥	肥料総成分量		
	代かきの入水前に施す		出穂 40 日前	出穂 10 日前			
土づくり 肥料	セラム有機 820	PK 40号	けい酸加里	あきまさり (セラム有機240)	窒素	リン酸	加里
200	18~20	20	30	10~15	1.96~ 2.64	6.56~ 7.00	12.8~13.5 (6.8~7.5)

ほ場の地力により施肥量は変わります。地力の高い水田では、元肥・穂肥ともに2~3割程度減らして施しましょう。

## 病害虫・雑草防除体系

※ 本田期防除については、粉剤体系または粒剤体系いずれかの

### (一般防除体系)

体系でご使用下さい。

適 用	農薬名	散布量	効果・備考
種子消毒	モミガードC水和剤	粃3kgに15g (0.5%)	苗立枯細菌病、ばか苗病、もみ枯細菌病 いもち病、ごま葉枯病
育苗箱 施用剤	ルーチンエキスパート箱粒剤	50g/1箱	いもち病、紋枯病、害虫防除に!
除草剤	イネキング1キロ粒剤	1kg/10a	移植直後~ノビエ2.5葉期。但し移植 後30日まで。
本田期防除 ※粉剤体系	ワイドナーエース粉剤DL	4kg/10a	穂ぞろい期防除 (殺虫殺菌剤)
	ダントツ粉剤DL	4kg/10a	穂ぞろい期から10日後防除 (殺虫剤)
本田期防除 ※粒剤体系	コラトップダントツ1キロ粒剤	1kg/10a	出穂5日前までに防除 (いもち病、カメムシ類、ウンカ類、 ツマグロヨコバイ)
	オリゼメート粒剤	4kg/10a	出穂3~4週間前~収穫14日前に防除 (白葉枯病、いもち病、穂枯れ)
	ダントツ粒剤	4kg/10a	出穂期に防除。散布時期に注意して下 さい。





## (ヘリコプター防除体系)

適用	農薬名	散布量	効果・備考
種子消毒	モミガードC水和剤	粃3kgに15g(0.5%)	苗立枯細菌病、ばか苗病、もみ枯細菌病 いもち病、ごま葉枯病
育苗箱 施用剤	ルーチンエキスパート箱粒剤	50g/1箱	いもち病、紋枯病、害虫防除に!
除草剤	イネキング1キロ粒剤	1kg/10a	移植直後～ノビエ2.5葉期。但し移植後30日まで。
本田期防 除	ヘリコプター防除		

## (倒伏軽減剤)

農薬名	散布量	備考
ロミカ粒剤	3kg/10a	イネの下位節間の伸長時期に合わせて出穂25～10日前に均一に散布する。
スマレクト粒剤	3kg/10a	出穂20～7日前の処理は上位3節間を効果的に抑制し、耐倒伏性が高まる。

### 【注意事項】

※あか穂もちの栽培にはJAとの契約が必要となります。詳しくは農産課・営農推進資材課までご連絡して下さい。

※種子については、JA保有の種子をご購入下さい。JAへ出荷される農家限定となります。一般農家への販売はしておりませんので、ご注意下さい。

**JALしまね 石見銀山地区本部**



## 『つや姫』(堆肥散布)栽培について

つや姫については、化学合成農薬及び化学合成肥料の使用量が、県における標準的使用量のそれぞれ5割以下とするなど特別栽培基準での取組みになっています。作付けにあたっては、JAとの栽培契約が必要です。詳しくは、農産課(0854-84-9057)または営農推進資材課(0854-84-9070)までお問い合わせ下さい。

### 「つや姫」(堆肥散布)栽培基準

#### 「基本施肥設計」(10a当り・単位:k g)

年 内	年内 又は 春先	元 肥		中間追肥	穂 肥	肥料総成分量		
		代かきの入水前に施す		出穂 40日前	出穂25日前 (幼穂長2mm)	※( )内は、中間追肥を 施用しない場合の数値		
牛ふん 堆肥	土作り 肥料	セラム有機 820	苦土 重焼燐	けい酸 加里	あきまさり (セラム有機240)	窒素	磷酸	加里
500kg 以上	200	25	20	30	25	5.0	11.0	11.0 (5.0)

化学窒素成分量が4kg/10a以下の為、特別栽培米コシヒカリとエコ米コシヒカリとは異なりますのでご注意ください。

#### 「労力省力型施肥設計」施肥設計(10a当り・単位:k g)

※上記以外の農薬を使用しますと「特別栽培米」・「エコロジー米」に該当しなくなりますのでご注意ください。

年 内	年内 又は 春先	元 肥		穂 肥	肥料総成分量			
		代かき入水前に施す		出穂25日前	窒素	磷酸	加里	
牛ふん 堆肥	ミネリッチ	有機一発266		PK 40号	あきまさり (セラム有機240)	6.6~ 7.8 以下	7.0~ 7.6 以下	7.9~ 8.5 以下
500kg 以上	100	40~50		20	※15kg以下			

#### ※農薬使用注意事項について

※種子については毎年更新が必要となります。

タフブロック処理がしてある種子での販売となりますので、処理の必要が無くなりました。

尚、2月以降での種子予約につきましては、ご自宅でのタフブロック処理が必要となる場合もございます。

## 『防除基準』

### (一般防除体系)

適用	農薬名	散布量	効果・備考
種子消毒	タフブロック(種子消毒)		ばか苗病、もみ枯細菌病、苗立枯細菌病 湯条病、いもち病
育苗箱 施用剤	ルーチンエキスパート箱粒剤	50g/1箱	いもち病、紋枯病、害虫(対象害虫については 申込書をご覧ください。)
除草剤	キマリテ1キロ粒剤 または キマリテジャンボ	1kg/10a 300g/10a	散布適期は田植後15日まで。 早めの散布!
	中後期 除草剤	○クリンチャー1和粒剤 ○クリンチャージャンボ ○バサグラン粒剤 ○クリンチャーバス液剤	1kg/10a 1kg/10a 3kg/10a 1,000ml/10a
本田期防除	△ビームトレボン粉剤5DL	4kg/10a	いもち病・カメムシ類 収穫7日前まで。
	バリダシン粉剤DL	3kg/10a	紋枯病
	スタークル粒剤または スタークル粉剤DLまたは スタークル豆つぶ	3kg/10a 3kg/10a 250g~500g/10a	カメムシ類 収穫7日前まで。
	△トレボン粉剤DL	4kg/10a	カメムシ類、収穫7日前まで。

下さい。

○中後期除草剤はいずれか1回のみ使用可能です。

△本田期防除剤はいずれか1回のみ使用可能です。

平成30年産LGCソフト栽培基準(作物:米)

品種:LGCソフト

農薬の使用基準(一般防除体系)

特別栽培米					
防除時期	対象病害虫・雑草	使用農薬	使用成分名	用途	有効成分数
4月	いもち病 ばか苗病 苗立枯細菌病 もみ枯細菌病 褐条病	タフブロック	タラロマイセスフラバス(*)	殺菌	0
5月	イネミズソウムシ イネドロオイムシ ウンカ類 ツマグロヨコバイ コブノメイガ フタオビコヤガ いもち病 紋枯病 白葉枯病	ルーチンエキスパート箱粒剤	イミダクロプリド スピノサド(*) イソチアニル ベンフルフェン	殺虫 殺虫 殺菌 殺菌	3
	水田1年生雑草及び ウリカワ・ミズカヤツリ他	キマリテ (1キロ粒剤またはジャンボ剤)	イブフェンカルバゾン テフリルトリオン	除草	2
7月	ヒエ	クリンチャー1キロ粒剤または クリンチャージャンボまたは	シハロホップブチル	除草	1
8月	紋枯病	バリダシン粉剤DL	バリダマイシン	殺菌	0
	イナゴ類 イネツトムシ イネドロオイムシ ウンカ類 カメムシ類 コブノメイガ ツマグロヨコバイ ニカメイチュウ フタオビコヤガ 穂枯れ いもち病	ビームトレボン粉剤5DL  スタークル粒剤または同粉剤DL またはスタークル豆つぶ	エトフェンプロックス トリシクラゾール  ジノテフラン	殺虫 殺菌  殺虫	2  1
有効成分合計数					9

化学肥料の使用状況(施肥量:kg/10a)

特別栽培米						
使用時期	用途	使用肥料名	施用量	化学肥料名	窒素成分	窒素量
4月	育苗	グリーンソイル(床・覆土)	80kg	窒素	0.2%	0.02kg
	元肥	セラム有機820 (8・12・10)	20kg	(有機体窒素) 硫安・燐安	5.00%	1.00kg
7月	穂肥	セラム有機240 (12・4・10)	20kg	(有機体窒素) 尿素・硫安	8.50%	1.70kg
化学窒素成分合計量						2.72kg



平成30年産LGCソフト栽培基準(作物:米)

品種:LGCソフト

農薬の使用基準(一般防除体系)

特別栽培米					
防除時期	対象病害虫・雑草	使用農薬	使用成分名	用途	有効成分数
4月	いもち病 ばか苗病 苗立枯細菌病 もみ枯細菌病 褐条病	タフブロック	タラロマイセスフラバス(*)	殺菌	0
5月	イネミズゾウムシ イネドロオイムシ ウンカ類 ツマグロヨコバイ コブノメイガ フタオビコヤガ いもち病 紋枯病 白葉枯病	ルーチンエキスハート箱粒剤	イミダクロプリド スピノサド(*) イソチアニル ベンフルフェン	殺虫 殺虫 殺菌 殺菌	3
	水田1年生雑草及び ウリカワ・ミズカヤツリ他	キマリテ (1キロ粒剤またはジャンボ剤)	イブフェンカルバゾン テフリルトリオン	除草	2
7月	ウリカワ・ミズカヤツリ他	バサグラン粒剤	ベンダゾン	除草	1
8月	紋枯病	バリダシン粉剤DL	バリダマイシン	殺菌	0
	イナゴ類 イネツトムシ イネドロオイムシ ウンカ類 カメムシ類 コブノメイガ ツマグロヨコバイ ニカメイチュウ フタオビコヤガ 穂枯れ いもち病	ビームトレボン粉剤5DL  スタークル粒剤または同粉剤DL またはスタークル豆つぶ	エトフェンプロックス トリシクラゾール  ジノテフラン	殺虫 殺菌  殺虫	2  1
有効成分合計数					9

化学肥料の使用状況(施肥量:kg/10a)

特別栽培米						
使用時期	用途	使用肥料名	施肥量	化学肥料名	窒素成分	窒素量
4月	育苗	グリーンソイル(床・覆土)	80kg	窒素	0.2%	0.02kg
	元肥	セラム有機820 (8・12・10)	20kg	(有機体窒素) 硫安・燐安	5.00%	1.00kg
7月	穂肥	セラム有機240 (12・4・10)	20kg	(有機体窒素) 尿素・硫安	8.50%	1.70kg
化学窒素成分合計量						2.72kg

平成30年産LGCソフト栽培基準(作物:米)

品種:LGCソフト

農薬の使用基準(一般防除体系)

特別栽培米					
防除時期	対象病害虫・雑草	使用農薬	使用成分名	用途	有効成分数
4月	いもち病 ばか苗病 苗立枯細菌病 もみ枯細菌病 褐条病	タフブロック	タラロマイセスフラバス(*)	殺菌	0
5月	イネミズソウムシ イネドロオイムシ ウンカ類 ツマグロヨコバイ コブノメイガ フタオビコヤガ いもち病 紋枯病 白葉枯病	ルーチンエキスハート箱粒剤	イミダクロプリド スピノサド(*) イソチアニル ペンフルフェン	殺虫 殺虫 殺菌 殺菌	3
	水田1年生雑草及び ウリカワ・ミズカヤツリ他	キマリテ (1キロ粒剤またはジャンボ剤)	イプフェンカルバゾン テフリルトリオン	除草	2
7月	ヒエ・ウリカワ・ミズカヤツリ他	クリンチャーパス液剤	シハロホップブチル ペンタゾン	除草	2
8月	紋枯病	バリダシン粉剤DL	バリダマイシン	殺菌	0
	イナゴ類 イネツトムシ イネドロオイムシ ウンカ類 カメムシ類 コブノメイガ ツマグロヨコバイ ニカメイチュウ フタオビコヤガ 穂枯れ いもち病	ビームトレボン粉剤SDL  スタークル粒剤または同粉剤DL またはスタークル豆つぶ	エトフェンプロックス トリシクラゾール  ジノテフラン	殺虫 殺菌  殺虫	2  1
有効成分合计数					10

化学肥料の使用状況(施肥量:kg/10a)

特別栽培米						
使用時期	用途	使用肥料名	施用量	化学肥料名	窒素成分	窒素量
4月	育苗	グリーンソイル(床・覆土)	80kg	窒素	0.2%	0.02kg
	元肥	セラム有機820 (8・12・10)	20kg	(有機体窒素) 硫安・燐安	5.00%	1.00kg
7月	穂肥	セラム有機240 (12・4・10)	20kg	(有機体窒素) 尿素・硫安	8.50%	1.70kg
化学窒素成分合计数						2.72kg



平成30年産LGCソフト栽培基準(作物:米)

品種:LGCソフト

農薬の使用基準(一般防除体系)

特別栽培米					
防除時期	対象病害虫・雑草	使用農薬	使用成分名	用途	有効成分数
4月	いもち病 ばか苗病 苗立枯細菌病 もみ枯細菌病 褐条病	タフブロック	タラロマイセスフラバス(*)	殺菌	0
5月	イネミズゾウムシ イネドロオイムシ ウンカ類 ツマグロヨコバイ コブノメイガ フタオビコヤガ いもち病 紋枯病 白葉枯病	ルーチンエキスハート箱粒剤	イミダクロプリド スピノサド(*) イソチアニル ベンフルフェン	殺虫 殺虫 殺菌 殺菌	3
	水田1年生雑草及び ウリカワ・ミズカヤツリ他	キマリテ (1キロ粒剤またはジャンボ剤)	イプフェンカルバゾン テフリルトリオン	除草	2
7月	ヒエ	クリンチャー1キロ粒剤または クリンチャージャンボまたは	シハロホップブチル	除草	1
8月	紋枯病	バリダシン粉剤DL	バリダマイシン	殺菌	0
	イナゴ類 イネドロオイムシ イネヒメハモグリバエ イネミズゾウムシ ウンカ類 カメムシ類 コブノメイガ ツマグロヨコバイ ニカメイチュウ フタオビコヤガ	スタークル粒剤または同粉剤DL またはスタークル豆つぶ  トレボン粉剤DL	ジノテフラン  エトフェンプロックス	殺虫  殺虫	1  1
	有効成分合计数				8

化学肥料の使用状況(施肥量:kg/10a)

特別栽培米						
使用時期	用途	使用肥料名	施用量	化学肥料名	窒素成分	窒素量
4月	育苗	グリーンソイル(床・覆土)	80kg	窒素	0.2%	0.02kg
	元肥	セラム有機820 (8・12・10)	20kg	(有機体窒素) 硫安・燐安	5.00%	1.00kg
7月	穂肥	セラム有機240 (12・4・10)	20kg	(有機体窒素) 尿素・硫安	8.50%	1.70kg
化学窒素成分合计数						2.72kg

平成30年産LGCソフト栽培基準(作物:米)

品種:LGCソフト

農薬の使用基準(一般防除体系)

特別栽培米					
防除時期	対象病害虫・雑草	使用農薬	使用成分名	用途	有効成分数
4月	いもち病 ばか苗病 苗立枯細菌病 もみ枯細菌病 褐条病	タフブロック	タラロマイセスフラバス(*)	殺菌	0
5月	イネミズゾウムシ イネドロオイムシ ウンカ類 ツマグロヨコバイ コブノメイガ フタオビコヤガ いもち病 紋枯病 白葉枯病	ルーチンエキスハート箱粒剤	イミダクロプリド スピノサド(*) イソチアニル ベンフルフェン	殺虫 殺虫 殺菌 殺菌	3
	水田1年生雑草及び ウリカワ・ミズカヤツリ他	キマリテ (1キロ粒剤またはジャンボ剤)	イプフェンカルバゾン テフリルトリオン	除草	2
7月	ウリカワ・ミズカヤツリ他	バサグラン粒剤	ペンダゾン	除草	1
8月	紋枯病	バリダシン粉剤DL	バリダマイシン	殺菌	0
	イナゴ類 イネドロオイムシ イネヒメハモグリバエ イネミズゾウムシ ウンカ類 カメムシ類	スタークル粒剤または同粉剤DL またはスタークル豆つぶ	ジノテフラン	殺虫	1
	コブノメイガ ツマグロヨコバイ ニカメイチュウ フタオビコヤガ	トレボン粉剤DL	エトフェンプロックス	殺虫	1
有効成分合計数					8

化学肥料の使用状況(施肥量:kg/10a)

特別栽培米						
使用時期	用途	使用肥料名	施用量	化学肥料名	窒素成分	窒素量
4月	育苗	グリーンソイル(床・覆土)	80kg	窒素	0.2%	0.02kg
	元肥	セラム有機820 (8・12・10)	20kg	(有機体窒素) 硫安・燐安	5.00%	1.00kg
7月	穂肥	セラム有機240 (12・4・10)	20kg	(有機体窒素) 尿素・硫安	8.50%	1.70kg
化学窒素成分合計量						2.72kg



平成30年産LGCソフト栽培基準(作物:米)

品種:LGCソフト

農薬の使用基準(一般防除体系)

特別栽培米					
防除時期	対象病害虫・雑草	使用農薬	使用成分名	用途	有効成分数
4月	いもち病 ばか苗病 苗立枯細菌病 もみ枯細菌病 褐条病	タフブロック	タラロマイセスフラバス(*)	殺菌	0
5月	イネミズゾウムシ イネドロオイムシ ウンカ類 ツマグロヨコバイ コブノメイガ フタオビコヤガ いもち病 紋枯病 白葉枯病	ルーチンエキスハート箱粒剤	イミダクロプリド スピノサド(*) イソチアニル ベンフルフェン	殺虫 殺虫 殺菌 殺菌	3
	水田1年生雑草及び ウリカワ・ミズカヤツリ他	キマリテ (1キロ粒剤またはジャンボ剤)	イブフェンカルバゾン テフリルトリオン	除草	2
7月	ヒエ・ウリカワ・ミズカヤツリ他	クリンチャーパス液剤	シハロホップブチル ベンタゾン	除草	2
8月	紋枯病	バリダシン粉剤DL	バリダマイシン	殺菌	0
	イナゴ類 イネドロオイムシ イネヒメハモグリハエ イネミズゾウムシ ウンカ類 カメムシ類 コブノメイガ ツマグロヨコバイ ニカメイチュウ フタオビコヤガ	スタークル粒剤または同粉剤DL またはスタークル豆つぶ  トレボン粉剤DL	ジノテフラン  エトフェンブロックス	殺虫  殺虫	1  1
有効成分合計数					9

化学肥料の使用状況(施肥量:kg/10a)

特別栽培米						
使用時期	用途	使用肥料名	施用量	化学肥料名	窒素成分	窒素量
4月	育苗	グリーンソイル(床・覆土)	80kg	窒素	0.2%	0.02kg
	元肥	セラム有機820 (8・12・10)	20kg	(有機体窒素) 硫安・燐安	5.00%	1.00kg
7月	穂肥	セラム有機240 (12・4・10)	20kg	(有機体窒素) 尿素・硫安	8.50%	1.70kg
化学窒素成分合計量						2.72kg

平成30年産特別栽培(特別栽培米・エコロジー米)農産物栽培基準(作物:米)

品種:コシヒカリ

農薬の使用基準(一般防除体系)

特別栽培米					
防除時期	対象病害虫・雑草	使用農薬	使用成分名	用途	有効成分数
4月	いもち病 ばか苗病 苗立枯細菌病 もみ枯細菌病 褐条病	タフブロック	タラロマイセスフラバス(*)	殺菌	0
5月	イネミズゾウムシ イネドロオウムシ ウンカ類 ツマグロヨコバイ コブノメイガ フタオビコヤガ いもち病 紋枯病 白葉枯病	ルーチンエキスハート箱粒剤	イミダクロプリド スピノサド(*) イソチアニル ベンフルフェン	殺虫 殺虫 殺菌 殺菌	3
	水田1年生雑草及び ウリカワ・ミズカヤツリ他	キマリテ (1キロ粒剤またはジャンボ剤)	イブフェンカルバゾン テフリルトリオン	除草	2
7月	ヒエ	クリンチャー1キロ粒剤または クリンチャージャンボまたは	シハロホップブチル	除草	1
8月	紋枯病	バリダシン粉剤DL	バリダマイシン	殺菌	0
	イナゴ類 イネツトムシ イネドロオウムシ ウンカ類 カメムシ類 コブノメイガ ツマグロヨコバイ ニカメイチュウ フタオビコヤガ 穂枯れ いもち病	ビームトレボン粉剤5DL  スタークル粒剤または同粉剤DL またはスタークル豆つぶ	エトフェンブロックス トリシクラゾール  ジノテフラン	殺虫 殺菌  殺虫	2  1
	有効成分合计数				9

化学肥料の使用状況(施肥量:kg/10a)

特別栽培米						
使用時期	用途	使用肥料名	施肥量	化学肥料名	窒素成分	窒素量
4月	育苗	グリーンソイル(床・覆土)	80kg	窒素	0.2%	0.02kg
	元肥	セラム有機820 (8・12・10)	20kg	(有機体窒素) 硫安・熾安	5.00%	1.00kg
7月	穂肥	セラム有機240 (12・4・10)	20kg	(有機体窒素) 尿素・硫安	8.50%	1.70kg
化学窒素成分合计数						2.72kg



平成30年産特別栽培(特別栽培米・エコロジー米)農産物栽培基準(作物:米)

品種:コシヒカリ

農薬の使用基準(一般防除体系)

特別栽培米					
防除時期	対象病害虫・雑草	使用農薬	使用成分名	用途	有効成分数
4月	いもち病 ばか苗病 苗立枯細菌病 もみ枯細菌病 褐条病	タフブロック	タラロマイセスフラバス(*)	殺菌	0
5月	イネミズゾウムシ イネドロオイムシ ウンカ類 ツマグロヨコバイ コブノメイガ フタオビコヤガ いもち病 紋枯病 白葉枯病	ルーチンエキスパート箱粒剤	イミダクロプリド スピノサド(*) イソチアニル ベンフルフェン	殺虫 殺虫 殺菌 殺菌	3
	水田1年生雑草及び ウリカワ・ミズカヤツリ他	キマリテ (1キロ粒剤またはジャンボ剤)	イブフェンカルバゾン テフリルトリオン	除草	2
7月	ウリカワ・ミズカヤツリ他	バサグラン粒剤	ベンダゾン	除草	1
8月	紋枯病	バリダシン粉剤DL	バリダマイシン	殺菌	0
	イナゴ類 イネツトムシ イネドロオイムシ ウンカ類 カメムシ類 コブノメイガ ツマグロヨコバイ ニカメイチュウ フタオビコヤガ 穂枯れ いもち病	ビームトレボン粉剤5DL  スタークル粒剤または同粉剤DL またはスタークル豆つぶ	エトフェンプロックス トリシクラゾール  ジノテフラン	殺虫 殺菌  殺虫	2  1
有効成分合计数					9

化学肥料の使用状況(施肥量:kg/10a)

特別栽培米						
使用時期	用途	使用肥料名	施用量	化学肥料名	窒素成分	窒素量
4月	育苗	グリーンソイル(床・覆土)	80kg	窒素	0.2%	0.02kg
	元肥	セラム有機820 (8・12・10)	20kg	(有機体窒素) 硫安・燐安	5.00%	1.00kg
7月	穂肥	セラム有機240 (12・4・10)	20kg	(有機体窒素) 尿素・硫安	8.50%	1.70kg
化学窒素成分合计数						2.72kg

平成30年産特別栽培(特別栽培米・エコロジー米)農産物栽培基準(作物:米)

品種:コシヒカリ

農薬の使用基準(一般防除体系)

特別栽培米					
防除時期	対象病害虫・雑草	使用農薬	使用成分名	用途	有効成分数
4月	いもち病 ばか苗病 苗立枯細菌病 もみ枯細菌病 褐条病	タフブロック	タラロマイセスフラバス(*)	殺菌	0
5月	イネミズゾウムシ イネドロオイムシ ウンカ類 ツマグロヨコバイ コブノメイガ フタオビコヤガ いもち病 紋枯病 白葉枯病	ルーチンエキスパート箱粒剤	イミダクロプリド スピノサド(*) イソチアニル ベンフルフェン	殺虫 殺虫 殺菌 殺菌	3
	水田1年生雑草及び ウリカワ・ミズカヤツリ他	キマリテ (1キロ粒剤またはジャンボ剤)	イブフェンカルバゾン テフリルトリオン	除草	2
7月	ヒエ・ウリカワ・ミズカヤツリ他	クリンチャーバス液剤	シハロホップブチル ペンタゾン	除草	2
8月	紋枯病	バリダシン粉剤DL	バリダマイシン	殺菌	0
	イナゴ類 イネツトムシ イネドロオイムシ ウンカ類 カメムシ類 コブノメイガ ツマグロヨコバイ ニカメイチュウ フタオビコヤガ 穂枯れ いもち病	ビームトレボン粉剤5DL  スタークル粒剤または同粉剤DL またはスタークル豆つぶ	エトフェンブロックス トリシクラゾール  ジノテフラン	殺虫 殺菌  殺虫	2  1
有効成分合计数					10

化学肥料の使用状況(施肥量:kg/10a)

特別栽培米						
使用時期	用途	使用肥料名	施用量	化学肥料名	窒素成分	窒素量
4月	育苗	グリーンソイル(床・覆土)	80kg	窒素	0.2%	0.02kg
	元肥	セラム有機820 (8・12・10)	20kg	(有機体窒素) 硫安・燐安	5.00%	1.00kg
7月	穂肥	セラム有機240 (12・4・10)	20kg	(有機体窒素) 尿素・硫安	8.50%	1.70kg
化学窒素成分合计数						2.72kg



平成30年産特別栽培(特別栽培米・エコロジー米)農産物栽培基準(作物:米)

品種:コシヒカリ

農薬の使用基準(一般防除体系)

特別栽培米					
防除時期	対象病害虫・雑草	使用農薬	使用成分名	用途	有効成分数
4月	いもち病 ばか苗病 苗立枯細菌病 もみ枯細菌病 褐条病	タフブロック	タラロマイセスフラバス(*)	殺菌	0
5月	イネミズゾウムシ イネドロオイムシ ウンカ類 ツマグロヨコバイ コブノメイガ フタオビコヤガ いもち病 紋枯病 白葉枯病	ルーチンエキスハート箱粒剤	イミダクロプリド スピノサド(*) イソチアニル ベンフルフェン	殺虫 殺虫 殺菌 殺菌	3
	水田1年生雑草及び ウリカワ・ミズカヤツリ他	キマリテ (1キロ粒剤またはジャンボ剤)	イプフェンカルバゾン テフリルトリオン	除草	2
7月	ヒエ	クリンチャー1キロ粒剤または クリンチャージャンボまたは	シハロホップブチル	除草	1
8月	紋枯病	バリダシン粉剤DL	バリダマイシン	殺菌	0
	イナゴ類 イネドロオイムシ イネヒメハモグリハエ イネミズゾウムシ ウンカ類	スタークル粒剤または同粉剤DL またはスタークル豆つぶ	ジノテフラン	殺虫	1
	カメムシ類 コブノメイガ ツマグロヨコバイ ニカメイチュウ フタオビコヤガ	トレボン粉剤DL	エトフェンブロックス	殺虫	1
有効成分合计数					8

化学肥料の使用状況(施肥量:kg/10a)

特別栽培米						
使用時期	用途	使用肥料名	施用量	化学肥料名	窒素成分	窒素量
4月	育苗	グリーンソイル(床・覆土)	80kg	窒素	0.2%	0.02kg
	元肥	セラム有機820 (8・12・10)	20kg	(有機体窒素) 硫安・燐安	5.00%	1.00kg
7月	穂肥	セラム有機240 (12・4・10)	20kg	(有機体窒素) 尿素・硫安	8.50%	1.70kg
化学窒素成分合计数						2.72kg

平成30年産特別栽培(特別栽培米・エコロジー米)農産物栽培基準(作物:米)

品種:コシヒカリ

農薬の使用基準(一般防除体系)

特別栽培米					
防除時期	対象病害虫・雑草	使用農薬	使用成分名	用途	有効成分数
4月	いもち病 ばか苗病 苗立枯細菌病 もみ枯細菌病 褐条病	タフブロック	タラロマイセスフラバス(*)	殺菌	0
5月	イネミズゾウムシ イネドロオイムシ ウンカ類 ツマグロヨコバイ コブノメイガ フタオビコヤガ いもち病 紋枯病 白葉枯病	ルーチンエキス <sup>®</sup> ハート箱粒剤	イミダクロプリド スピノサド(*) イソチアニル ベンフルフェン	殺虫 殺虫 殺菌 殺菌	3
	水田1年生雑草及び ウリカワ・ミズカヤツリ他	キマリテ (1キロ粒剤またはジャンボ剤)	イブフェンカルバゾン テフリルトリオン	除草	2
7月	ウリカワ・ミズカヤツリ他	バサグラン粒剤	ベンダゾン	除草	1
8月	紋枯病	バリダシン粉剤DL	バリダマイシン	殺菌	0
	イナゴ類 イネドロオイムシ イネヒメハモグリバエ イネミズゾウムシ ウンカ類 カメムシ類 コブノメイガ ツマグロヨコバイ ニカメイチュウ フタオビコヤガ	スタークル粒剤または同粉剤DL またはスタークル豆つぶ	ジノテフラン	殺虫	1
		トレボン粉剤DL	エトフェンプロックス	殺虫	1
有効成分合计数					8

化学肥料の使用状況(施肥量:kg/10a)

特別栽培米						
使用時期	用途	使用肥料名	施用量	化学肥料名	窒素成分	窒素量
4月	育苗	グリーンソイル(床・覆土)	80kg	窒素	0.2%	0.02kg
	元肥	セラム有機820 (8・12・10)	20kg	(有機体窒素) 硫安・燐安	5.00%	1.00kg
7月	穂肥	セラム有機240 (12・4・10)	20kg	(有機体窒素) 尿素・硫安	8.50%	1.70kg
化学窒素成分合计数						2.72kg



平成30年産特別栽培(特別栽培米・エコロジー米)農産物栽培基準(作物:米)

品種:コシヒカリ

農薬の使用基準(一般防除体系)

特別栽培米					
防除時期	対象病害虫・雑草	使用農薬	使用成分名	用途	有効成分数
4月	いもち病 ばか苗病 苗立枯細菌病 もみ枯細菌病 褐条病	タフブロック	タラロマイセスフラバス(*)	殺菌	0
5月	イネミズゾウムシ イネドロオイムシ ウンカ類 ツマグロヨコバイ コブノメイガ フタオビコヤガ いもち病 紋枯病 白葉枯病	ルーチンエキス <sup>®</sup> ハート箱粒剤	イミダクロプリド スピノサド(*) イソチアニル ベンフルフェン	殺虫 殺虫 殺菌 殺菌	3
	水田1年生雑草及び ウリカワ・ミズカヤツリ他	キマリテ (1キロ粒剤またはジャンボ剤)	イブフェンカルバゾン テフリルトリオン	除草	2
7月	ヒエ・ウリカワ・ミズカヤツリ他	クリンチャーパス液剤	シハロホップブチル ペンタゾン	除草	2
8月	紋枯病	バリダシン粉剤DL	バリダマイシン	殺菌	0
	イナゴ類 イネドロオイムシ イネヒメハモグリバエ イネミズゾウムシ ウンカ類	スタークル粒剤または同粉剤DL またはスタークル豆つぶ	ジノテフラン	殺虫	1
	カメムシ類 コブノメイガ ツマグロヨコバイ ニカメイチュウ フタオビコヤガ	トレボン粉剤DL	エトフェンブロックス	殺虫	1
有効成分合計数					9

化学肥料の使用状況(施肥量:kg/10a)

特別栽培米						
使用時期	用途	使用肥料名	施用量	化学肥料名	窒素成分	窒素量
4月	育苗	グリーンソイル(床・覆土)	80kg	窒素	0.2%	0.02kg
	元肥	セラム有機820 (8・12・10)	20kg	(有機体窒素) 硫安・燐安	5.00%	1.00kg
7月	穂肥	セラム有機240 (12・4・10)	20kg	(有機体窒素) 尿素・硫安	8.50%	1.70kg
化学窒素成分合計量						2.72kg

平成30年産特別栽培(特別栽培米)農産物栽培基準(作物:米)

品種:つや姫

農薬の使用基準(一般防除体系)

特別栽培米					
防除時期	対象病害虫・雑草	使用農薬	使用成分名	用途	有効成分数
4月	いもち病 ばか苗病 苗立枯細菌病 もみ枯細菌病 褐条病	タフブロック	タラロマイセスフラバス(*)	殺菌	0
5月	イネミズゾウムシ イネドロオウムシ ウンカ類 ツマグロヨコバイ コブノメイガ フタオビコヤガ いもち病 紋枯病 白葉枯病	ルーチンエキスパート箱粒剤	イミダクロプリド スピノサド(*) イソチアニル ベンフルフェン	殺虫 殺虫 殺菌 殺菌	3
	水田1年生雑草及び ウリカワ・ミズカヤツリ他	キマリテ (1キロ粒剤またはジャンボ剤)	イブフェンカルバゾン テフリルトリオン	除草	2
7月	ヒエ	クリンチャー1キロ粒剤または クリンチャージャンボまたは	シハロホップブチル	除草	1
8月	紋枯病	バリダシン粉剤DL	バリダマイシン	殺菌	0
	イナゴ類 イネツトムシ イネドロオウムシ ウンカ類 カメムシ類 コブノメイガ ツマグロヨコバイ ニカメイチュウ フタオビコヤガ 穂枯れ いもち病	ビームトレボン粉剤5DL  スタークル粒剤または同粉剤DL またはスタークル豆つぶ	エトフェンプロックス トリシクラゾール  ジノテフラン	殺虫 殺菌  殺虫	2  1
有効成分合計数					9

化学肥料の使用状況(施肥量:kg/10a)

特別栽培米						
使用時期	用途	使用肥料名	施肥量	化学肥料名	窒素成分	窒素量
4月	育苗	グリーンソイル(床・覆土)	80kg	窒素	0.2%	0.02kg
	元肥	セラム有機820 (8・12・10)	35kg	(有機体窒素) 硫安・熾安	5.00%	1.75kg
7月	穂肥	セラム有機240 (12・4・10)	25kg	(有機体窒素) 尿素・硫安	8.50%	2.12kg
化学窒素成分合計量						3.89kg



平成30年産特別栽培(特別栽培米)農産物栽培基準(作物:米)

品種:つや姫

農薬の使用基準(一般防除体系)

特別栽培米					
防除時期	対象病害虫・雑草	使用農薬	使用成分名	用途	有効成分数
4月	いもち病 ばか苗病 苗立枯細菌病 もみ枯細菌病 褐条病	タフブロック	タラロマイセスフラバス(*)	殺菌	0
5月	イネミズゾウムシ イネドロオウムシ ウンカ類 ツマグロヨコバイ コブノメイガ フタオビコヤガ いもち病 紋枯病 白葉枯病	ルーチンエキスパート箱粒剤	イミダクロプリド スピノサド(*) イソチアニル ベンフルフェン	殺虫 殺虫 殺菌 殺菌	3
	水田1年生雑草及び ウリカワ・ミズカヤツリ他	キマリテ (1キロ粒剤またはジャンボ剤)	イブフェンカルバゾン テフリルトリオン	除草	2
7月	ウリカワ・ミズカヤツリ他	バサグラン粒剤	ベンダゾン	除草	1
8月	紋枯病	バリダシン粉剤DL	バリダマイシン	殺菌	0
	イナゴ類 イネツトムシ イネドロオウムシ ウンカ類 カメムシ類 コブノメイガ ツマグロヨコバイ ニカメイチュウ フタオビコヤガ 穂枯れ いもち病	ビームトレボン粉剤5DL  スタークル粒剤または同粉剤DL またはスタークル豆つぶ	エトフェンプロックス トリシクラゾール  ジノテフラン	殺虫 殺菌  殺虫	2  1
有効成分合計数					9

化学肥料の使用状況(施肥量:kg/10a)

特別栽培米						
使用時期	用途	使用肥料名	施肥量	化学肥料名	窒素成分	窒素量
4月	育苗	グリーンソイル(床・覆土)	80kg	窒素	0.2%	0.02kg
	元肥	セラム有機820 (8・12・10)	35kg	(有機体窒素) 硫安・熾安	5.00%	1.75kg
7月	穂肥	セラム有機240 (12・4・10)	25kg	(有機体窒素) 尿素・硫安	8.50%	2.12kg
化学窒素成分合計量						3.89kg

平成30年産特別栽培(特別栽培米)農産物栽培基準(作物:米)

品種:つや姫

農薬の使用基準(一般防除体系)

特別栽培米					
防除時期	対象病害虫・雑草	使用農薬	使用成分名	用途	有効成分数
4月	いもち病 ばか苗病 苗立枯細菌病 もみ枯細菌病 褐条病	タフブロック	タラロマイセスフラバス(*)	殺菌	0
5月	イネミズゾウムシ イネドロオイムシ ウンカ類 ツマグロヨコバイ コブノメイガ フタオビコヤガ いもち病 紋枯病 白葉枯病	ルーチンエキスハート箱粒剤	イミダクロプリド スピノサド(*) イソチアニル ベンフルフェン	殺虫 殺虫 殺菌 殺菌	3
	水田1年生雑草及び ウリカワ・ミズカヤツリ他	キマリテ (1キロ粒剤またはジャンボ剤)	イブフェンカルバゾン テフリルトリオン	除草	2
7月	ヒエ・ウリカワ・ミズカヤツリ他	クリンチャーバス液剤	シハロホップブチル ペンタゾン	除草	2
8月	紋枯病	バリダシン粉剤DL	バリダマイシン	殺菌	0
	イナゴ類 イネツトムシ イネドロオイムシ ウンカ類 カメムシ類 コブノメイガ ツマグロヨコバイ ニカメイチュウ フタオビコヤガ 穂枯れ いもち病	ビームトレボン粉剤5DL  スタークル粒剤または同粉剤DL またはスタークル豆つぶ	エトフェンプロックス トリシクラゾール  ジノテフラン	殺虫 殺菌  殺虫	2  1
有効成分合计数					10

化学肥料の使用状況(施肥量:kg/10a)

特別栽培米						
使用時期	用途	使用肥料名	施肥量	化学肥料名	窒素成分	窒素量
4月	育苗	グリーンソイル(床・覆土)	80kg	窒素	0.2%	0.02kg
	元肥	セラム有機820 (8・12・10)	35kg	(有機体窒素) 硫安・磷安	5.00%	1.75kg
7月	穂肥	セラム有機240 (12・4・10)	25kg	(有機体窒素) 尿素・硫安	8.50%	2.12kg
化学窒素成分合计数						3.89kg



平成30年産特別栽培(特別栽培米)農産物栽培基準(作物:米)

品種:つや姫

農薬の使用基準(一般防除体系)

特別栽培米					
防除時期	対象病害虫・雑草	使用農薬	使用成分名	用途	有効成分数
4月	いもち病 ばか苗病 苗立枯細菌病 もみ枯細菌病 褐条病	タフブロック	タラロマイセスフラバス(*)	殺菌	0
5月	イネミズゾウムシ イネドロオイムシ ウンカ類 ツマグロヨコバイ コブノメイガ フタオビコヤガ いもち病 紋枯病 白葉枯病	ルーチンエキス <sup>ハート</sup> 箱粒剤	イミダクロプリド スピノサド(*) イソチアニル ベンフルフェン	殺虫 殺虫 殺菌 殺菌	3
	水田1年生雑草及び ウリカワ・ミズカヤツリ他	キマリテ (1キロ粒剤またはジャンボ剤)	イブフェンカルバゾン テフリルトリオン	除草	2
7月	ヒエ	クリンチャー1キロ粒剤または クリンチャージャンボまたは	シハロホップブチル	除草	1
8月	紋枯病	バリダシン粉剤DL	バリダマイシン	殺菌	0
	イナゴ類 イネドロオイムシ イネヒメハモグリバエ イネミズゾウムシ ウンカ類 カメムシ類 コブノメイガ ツマグロヨコバイ ニカメイチュウ フタオビコヤガ	スタークル粒剤または同粉剤DL またはスタークル豆つぶ  トレボン粉剤DL	ジノテフラン  エトフェンプロックス	殺虫  殺虫	1  1
有効成分合計数					8

化学肥料の使用状況(施肥量:kg/10a)

特別栽培米						
使用時期	用途	使用肥料名	施用量	化学肥料名	窒素成分	窒素量
4月	育苗	グリーンソイル(床・覆土)	80kg	窒素	0.2%	0.02kg
	元肥	セラム有機820 (8・12・10)	35kg	(有機体窒素) 硫安・燐安	5.00%	1.75kg
7月	穂肥	セラム有機240 (12・4・10)	25kg	(有機体窒素) 尿素・硫安	8.50%	2.12kg
化学窒素成分合計量						3.89kg

平成30年産特別栽培(特別栽培米)農産物栽培基準(作物:米)

品種:つや姫

農薬の使用基準(一般防除体系)

特別栽培米					
防除時期	対象病害虫・雑草	使用農薬	使用成分名	用途	有効成分数
4月	いもち病 ばか苗病 苗立枯細菌病 もみ枯細菌病 褐条病	タフブロック	タラロマイセスフラバス(*)	殺菌	0
5月	イネミズゾウムシ イネドロオウムシ ウンカ類 ツマグロヨコバイ コブノメイガ フタオビコヤガ いもち病 紋枯病 白葉枯病	ルーチンエキスハート箱粒剤	イミダクロプリド スピノサド(*) イソチアニル ベンフルフェン	殺虫 殺虫 殺菌 殺菌	3
	水田1年生雑草及び ウリカワ・ミズカヤツリ他	キマリテ (1キロ粒剤またはジャンボ剤)	イブフェンカルバゾン テフリルトリオン	除草	2
7月	ウリカワ・ミズカヤツリ他	バサグラン粒剤	ペンダゾン	除草	1
8月	紋枯病	バリダシン粉剤DL	バリダマイシン	殺菌	0
	イナゴ類 イネドロオウムシ イネヒメハモグリバエ イネミズゾウムシ ウンカ類 カメムシ類 コブノメイガ ツマグロヨコバイ ニカメイチュウ フタオビコヤガ	スタークル粒剤または同粉剤DL またはスタークル豆つぶ  トレボン粉剤DL	ジノテフラン  エトフェンプロックス	殺虫  殺虫	1  1
有効成分合計数					8

化学肥料の使用状況(施肥量:kg/10a)

特別栽培米						
使用時期	用途	使用肥料名	施肥量	化学肥料名	窒素成分	窒素量
4月	育苗	グリーンソイル(床・覆土)	80kg	窒素	0.2%	0.02kg
	元肥	セラム有機820 (8・12・10)	35kg	(有機体窒素) 硫安・燐安	5.00%	1.75kg
7月	穂肥	セラム有機240 (12・4・10)	25kg	(有機体窒素) 尿素・硫安	8.50%	2.12kg
化学窒素成分合計量						3.89kg

平成30年産特別栽培(特別栽培米)農産物栽培基準(作物:米)

品種:つや姫

農薬の使用基準(一般防除体系)

特別栽培米					
防除時期	対象病害虫・雑草	使用農薬	使用成分名	用途	有効成分数
4月	いもち病 ばか苗病 苗立枯細菌病 もみ枯細菌病 褐条病	タフブロック	タラロマイセスフラバス(*)	殺菌	0
5月	イネミズゾウムシ イネドロオウムシ ウンカ類 ツマグロヨコバイ コブノメイガ フタオビコヤガ いもち病 紋枯病 白葉枯病	ルーチンエキスパート箱粒剤	イミダクロプリド スピノサド(*) イソチアニル ベンフルフェン	殺虫 殺虫 殺菌 殺菌	3
	水田1年生雑草及び ウリカワ・ミズカヤツリ他	キマリテ (1キロ粒剤またはジャンボ剤)	イブフェンカルバゾン テフリルトリオン	除草	2
7月	ヒエ・ウリカワ・ミズカヤツリ他	クリンチャーパス液剤	シハロホップブチル ペンタゾン	除草	2
8月	紋枯病	バリダシン粉剤DL	バリダマイシン	殺菌	0
	イナゴ類 イネドロオウムシ イネヒメハモグリバエ イネミズゾウムシ ウンカ類	スタークル粒剤または同粉剤DL またはスタークル豆つぶ	ジノテフラン	殺虫	1
	カメムシ類 コブノメイガ ツマグロヨコバイ ニカメイチュウ フタオビコヤガ	トレボン粉剤DL	エトフェンプロックス	殺虫	1
有効成分合計数					9

化学肥料の使用状況(施肥量:kg/10a)

特別栽培米						
使用時期	用途	使用肥料名	施用量	化学肥料名	窒素成分	窒素量
4月	育苗	グリーンソイル(床・覆土)	80kg	窒素	0.2%	0.02kg
	元肥	セラム有機820 (8・12・10)	35kg	(有機体窒素) 硫安・燐安	5.00%	1.75kg
7月	穂肥	セラム有機240 (12・4・10)	25kg	(有機体窒素) 尿素・硫安	8.50%	2.12kg
化学窒素成分合計量						3.89kg